

回復期リハビリテーション病棟 西3階

「リハビリテーション」は「尊厳の復権」という意味です。
「障害を持ちながらも、自分の納得できる新しい人生を創ること」といえます。

回復期リハビリテーション病棟とは・・・脳血管疾患や大腿骨頸部骨折などの患者様の寝たきりを防止し、
家庭生活に復帰ができるように、それぞれの患者様にあった
リハビリテーションプログラムを集中的に行う病棟です。

スタッフ：医師・看護師・看護補助者・理学療法士・作業療法士・
言語聴覚士・医療相談員・非常勤リハビリテーション医師

患者様の1日(イメージ)



AM 6:00
起床「おはようございます」
排泄や洗面をし、パジャマから昼間の服に着替えます
(毎日の日常生活動作もトレーニングになります)

AM 7:30
朝食「いただきます」
食堂に移動し食事をします
(夜勤から日勤のスタッフに交代します)

AM 9:00
~
午前のリハビリテーション
(入浴や回診もあります)

AM 11:30
昼食



PM 1:00
午後のリハビリテーション

PM 6:00
(日勤から夜勤のスタッフに交代します)
夕食
排泄や洗面をし、昼間の服からパジャマに着替えます

PM 9:00
消灯「おやすみなさい」
翌日のリハビリテーションを頑張るためにゆっくり休んでください



患者様の持つ力(残存能力・潜在能力・自ら治ろうとする力・生きる力)を最大限に引き出すよう、
スタッフ一同力を合わせてがんばっています。